

5月25日より、企画展示「君たちはどう生きるか」展第一部イメージボード編に続き、第二部レイアウト編が始まりました。映画制作の中で、絵コンテが映画全体の「設計図」であるとするれば、レイアウトは場面(カット)の「設計図」です。「君たちはどう生きるか」のレイアウトは、原画担当アニメーターによって描かれ、宮崎駿監督と作画監督が確認・修正を行いました。アニメーションでは画面の中の全てを描く必要があります。そのため、レイアウトには背景やキャラクターの位置、動きの指示、カメラワークなど、映像の1場面を作るのに必要な情報、演出意図が描き込まれているのです。監督が思い描き、創り上げた作品世界を、スタッフが1カット、1カット形にして1本の映画が出来上がります。

美術館では今までも「ものづくり」の過程を見せる展示を行ってきました。1つの作品、世界を創り上げるための試行錯誤をレイアウトからもご覧いただけるとと思います。1枚1枚に描き込まれた情報にぜひご注目ください。



季刊トライホークス 2024年 | 75号
発行日……2024年6月3日 | 発行人……中島清文
発行所……徳間記念アニメーション文化財団
東京都三鷹市下連雀1-1-83 三鷹の森ジブリ美術館
編集……石光紀子 塚原瑞穂 | デザイン……川島弘世
印刷……図書印刷株式会社 | 非売品

本棚より

トライホークスに置いているおすすめの本を紹介しています。
トライホークスの本棚の一冊から、みなさんの本棚の一冊にいただけたら嬉しいです。

エンデュランス号大漂流

1914年12月、イギリスの探検隊は南極大陸横断を目指して南極海のサウスジョージア島を出発しました。ところが木造の大型帆船エンデュランス号は出航して間もなく冰山や流氷に行く手を阻まれ、氷に閉じ込められたまま漂流し、やがて沈没してしまいました。この本はエンデュランス号の乗組員28名が無事に生還するまでの2年間の記録が記されています。

船が沈没したのは1915年11月21日。隊員たちは3隻の救命ボートをはじめ可能な限りの資材を船から運び出し、途中アザラシやペンギンを捕獲し食糧としながら、生き残るために移動します。目指すは出航地でもあるサウスジョージア島。船をおろすことのできる海を見つけ出すため氷の大地を移動し、さらには南極大陸から1000キロ以上も離れている島を目指して小さな船で海路を進まねばならないのです。

この本には探検隊の記録写真が多数掲載されています。モノクロの写真には探検隊のメンバーや設営されたキャンプの様子、氷に押しつぶされ沈んでいく船、そして待ちに待った救助船を迎えた瞬間までもが写っています。この人たちは生きるためにどれだけの決断をしなければならなかったのか、人のいない極寒の地でどうやって希望を失わずに前に進めたのか、100年前の写真を見るたびにそれを思わずにいられません。写真を通して、エンデュランス号の漂流が時間も場所もとび超えて読む者の前に現れます。誰1人欠けることなく全員が生還した南極探検隊の記録、まずは手にとって写真の持つ力をご覧いただきたいと思います。



エンデュランス号大漂流
著者…エリザベス・コーディー・キメル
訳者…千葉茂樹
あすなる書房 1,540円

スズキ コージ

Koji Suzuki

夢中になって読んだ本

絵本作家であり、舞台美術、壁画、ライブペインティングなど幅広い分野で活躍するスズキコージさんに本を紹介していただきました。スキップするような、踊りだしてしまうような文章（スズキコージさん曰く「イモツル式文面」）は、まさに『やまのかいしゃ』そのものだと思います！ まだ読んだことがない方には、この機会にぜひ手にとっていただきたいです。



* * * * *

『聖なるたこなんかじゃない』

僕が20代、東京赤坂割烹料理店住み込み小僧の頃、仕事が終わると新宿あたりをうろつき、ジャズの店で朝まで絵を描いたり、瞑想に耽ったり、いつも携えていたイサムイサムの『punk main chya』（大塚勇三 再話、秋野玄左 画、福音館書店）を、聖書のように眺めたりしてたっけ。ある晩、友人のシロとサラバーブッタアードーキーニーエーベーターベローバーニーエーベーターベローツアニエー オンオンオン ペーパーペー スーパーハー のマントラヨーガ（般若心経）を唱えながら夜の新宿を歩いていたら、目の前に長身長髪イサムの男が飄々と肩に何やらロール巻き荷を担いで現れ、その男こそアキノイサムであった。そして友人の宿でそのロール巻きを解くと、イサムがチベット・ネパール放浪の際、紅衛兵に寺院を焼き払われた僧侶が「これを持って逃げてくれ」と託した寺の曼荼羅画数十枚であった。魔法のランプの灯の中で、それは極彩色の喉がカラカラに乾くほどの紅、黄、喉を潤す澄みやかな青など、画の裏にまでマントラの呪文がぎっしりと描かれてあった。皆で舐めまわすように朝日が昇るまで眺め、腹が減ったので洗面器を持って近くの豆腐屋で山盛り1杯30円のおからを買い、イサムがさっと味

付けして皆で貪り食い、涅槃の眠りについた。昼頃、目が醒めるとイサムは何処へ旅立って消えていた。数十年後、我オンボロアトリエにドサンとイサムから荷が届き、2つの重い瓶クースー。古酒かなと思いきや、中身はイサムが八重山小浜島（沖縄県）の海で獲った小指位の太さのモズクに仰天、スンバラしくウメーッ！ もう一つは片山健ウミンチュさんに。

聖なる『たこなんかじゃないよ』は海人タコ取り名人イサム、女房和子作の痛快絵本。のんびり昼寝をすましたたこは、パラシュートのようにからだを広げて散歩に出る。そしてわたしはさんで、海草、すな、みず、と次々に変身をとげ、ごきげんにわたしはたこと呟きながら昼寝の続きをいたします。イサムインディアン絵巻物を眺めるたびに、古代のサガルマータ（ヒマラヤのこと。気絶する位数千万年前、海の底が盛り上がり、海の頭サガル マータとなった！）が蘇る。たこなんかじゃないよ、スーパーハー！

『やまのかいしゃ』誕生

数十年前、福音館月刊「母の友」おはなしを創る！ という企画の中で画家も参加。昔から片山健さんの絵のファンの我は「やまのかいしゃ」の文を約15分で書き、健さんがスンバラシイ白黒カットをつけてくれ、健さん文「海の肉や」に白

黒カット／コージ、で載った。その数年後、架空社の前野くんが「コージさん『やまのかいしゃ』を健さんの総天然色画で出版したいのだけど」「おーそりゃイカスぜ！」となり2人でもし健さんに断られたら、この話はないことにしよう、と固い決意で会いに行った。その話を震える声で前野くんが切り出すと、健さんはニッコリ「やります」僕は嬉しく仰け反った！ そもそも「やまのかいしゃ」はサラリーマン業の友人達と会社勤めしたこのない我との付き合いからほんわか生まれた話で、例えば、新宿天井やに勤める気は優しく力持ちロシア語ペラペラの井上さんは、美味しい酒を飲んでご機嫌な時、トルストイ作バスネツォフ画『3びきのくま』を取り出し、その擦り切れてポロポロのブーンと豚足の臭いのする絵本を一緒に眺めたっけ。また仲間たちと街のジュークボックスを囲んでローリング・ストーンズやビートルズのB面を彼らの奢りで皆で踊り、リズム&ブルースやロックンロールに飽きると、名曲喫茶のマーラーなどの厳かな曲で踊っていると、ボストンバックを持ち、うつむいた、いかにもど田舎からやってきた家出少女くんを元気付け、東京は怖いところだから田舎に帰るように勧め上野駅まで送って行ったっけ。だいが話がそれたが、ボブ・ディランの歌の中で、さえない日々が続くサラリーマン男が空を見上げると、ビルの上上で天使たちが高らかにラッパを吹き鳴らし、今日1日は私たちと天の上で遊びませう！ という曲があったっ

け。そして我らのほげたくんが寝ぼけ眼で歯を磨きながら電車に乗り、ご機嫌に町ではなく、やま奥の終点駅に到着（この鉄道モデルは秩父行き池袋線）。呆れたことに同僚のほいさくんと出会い、無線電話で町のかいしゃ皆々さん呼び、陽気な社長を先頭にやまのかいしゃにやってくるのはスバラシイではないか！ そんで健さんが描いてくれた透明水彩画は、のどちんこがごっくん、なんと喜びに満ち満ちた人間大自然賛歌ではないか！ ちなみに『やまのかいしゃ』出版直後、日本列島に住むサラリーマンの方から、私も年に1度はほげたさんの様な生き方をしております、という手紙が届いた。健さんありがとう。スーパー100歳！

スズキコージ

1948年静岡県生まれ、ヤギの乳で育つ。絵本や画業、舞台美術、壁画、ライブペインティングと、多方面に才能を発揮する。『エンソくん きしゃにのる』（福音館書店）で小学館絵画賞、『ガラスめだまときんのつののやぎ』（福音館書店）と『やまのディスコ』（架空社）で絵本にっぽん賞。『おぼけドライブ』（ビリケン出版）で講談社出版文化賞絵本賞、『ブラッキンダー』（イーストプレス）で日本絵本賞大賞、『旅ねすみ』（金の星社）で赤い鳥さし絵賞受賞。『きゅうりさんあぶないよ』（福音館書店）、『サルビルサ』『大千世界の生き物たち』（架空社）など多数。

トライホークスの本

とあつさのせい?
作…スズキコージ
福音館書店 1,320円



たごなんかじゃないよ
文…秋野和子
絵…秋野亥左半
福音館書店 品切重版未定



やまのかいしゃ
作…スズキコージ
絵…片山 健
福音館書店 1,650円

- ◆ サンタ・クロースからの手紙
作…J.R.トールキン 編…ベイルートールキン 訳…瀬田貞二
評論社 1,540円
- ◆ 砂漠の野生児 サハラのカモシカ少年
作…J.C.アルメン 訳…佐藤房吉 評論社 絶版

- ◆ あたごの浦
再話…協和子/脇明子 画…大道あや 福音館書店 990円
- ◆ ぶたぶたくんのおかいもの
作…松方久功 福音館書店 1,100円
- ◆ 年をとったワニの話
作…レオポルド・ショウオー 訳…出口裕弘 福音館文庫 770円
- ◆ きつねものがたり
作…ヨセフ・ラダ 訳…内田莉紗子 福音館書店 1,650円
- ◆ もじゃもじゃペーター
作…ハインリッヒ・ホフマン 訳…佐々木田鶴子 ほるぷ出版 2,530円
- ◆ うるわしのワシリー・サ ロシア昔話から
作…イヴァン・ビリーピン 訳…たなかやすこ ほるぷ出版 絶版
- ◆ マックスとモーリッツ
作…ヴィルヘルム・ブッシュ 訳…佐々木田鶴子 ほるぷ出版 絶版
- ◆ 長い長いお医者さんの話
作…カレル・チャペック 訳…中野好夫 岩波少年文庫 902円
- ◆ ナンセンスの絵本
作…エドワード・リア 訳…柳瀬尚紀 岩波文庫 品切重版未定

本を手にする 道のり

トライホークスでおすすめている本の中には、販売が終了してしまい、古本屋さんにて購入する、もしくは図書館で借りることでしか読めなくなってしまった本があります。これらの本を「ストーリー」を読みどころにして紹介していきたいと思います。この機会に興味を持っていただき図書館にぜひ足を運んでみてください。本を読む幸せが得られることと思います。

フランバース屋敷の人びと



1 愛の旅だち

フランバース屋敷の人びと 1~5
作…K.M.ペイトン 訳…掛川恭子
岩波少年文庫 品切重版未定

この物語は20世紀初頭のイギリスが舞台の大河小説です。両親を事故で亡くしたクリスチナは、親戚の家を転々とし、12歳の時に母親の腹違いの兄であるラッセル伯父に引き取られ、フランバース屋敷にやってきました。ラッセル伯父はクリスチナが21歳になった時に受け取る莫大な財産を目的に、自分の息子と彼女をいずれ結婚させようと考えていたのです。

当時のイギリスは階級社会を色濃く残していましたが、世の中が急速に変化していた時代でもありました。新しく登場した飛行機や自動車は、人々をそれまで属していた世界とは別の世界へ連れ出しました。ラッセル伯父の2人の息子もそうした時代を色濃く享受し、兄のマークは父親に似て馬や狩猟にしか興味のない横暴で頑固な若者に、弟のウィルは新しい世界にあこがれ、飛行機に夢中な青年になりました。クリスチナ自身は、乗馬や狩猟を愉しみながらも新しい世界への理解も示し、彼女を愛するようになった兄弟のうち弟ウィルを選び、2人で屋敷を出ていきました。

しかし運命は残酷で、ウィルは戦争で命を落とします。フランバース屋敷に戻った彼女は、荒れ果てた屋敷を農場として蘇らせようと奮闘するのですが、それを傍らで支えたのが、かつて屋敷で働いていた馬丁のディックでした。上流階級と労働者階級といった社会制度、慣習、戦争、家族の問題、誰かを愛することなど、国や時代は違っても人が生きていくときに切り離せないものが、クリスチナの生き方を通して語られ、私たちの隣で起こっている出来事のようにも感じるのです。

物語のもう一つの見どころはその描写です。宮崎駿監督は『本へのとびら』（岩波新書）の中で「やっと飛びはじめた頃の飛行機の原始的なエンジンや機体について、こんなにありありと書かれた本はありません。本当にその時代に居あわせてもなかなか書けるものではないのです」と語っています。心理描写もさることながら、作者ペイトンがみごとに描いた乗馬や飛行機のシーンは、その情景を目の前に思い起こさせ物語をよりリアルに作り上げているのです。

「フランバース屋敷の人びと」は元々3部作でしたが、読者からの熱い要望を受け12年後にクリスチナとディックのその後が「愛ふたたび」に書かれ4部作となりました。1人の主人公の生き方を軸に社会や人間模様が切々と描かれたこの物語は読み応えたっぷりです。ぜひ手に取って時代の空気感を味わってみてください。



2 雲のはて



3 めぐりくる夏



4 愛ふたたび(上)



5 愛ふたたび(下)